

## Japanese Conversation Practice Week 5 High Level

まくらのそうし はる  
枕草子『春はあけぼの』

### げんぶん 原文

はる 春はあけぼの。やうやうしろ 白くなりゆく山際、少し明かりて、むらさき 紫 だちたる雲の細くたなびきたる。

なつ 夏は夜。月のころはさらなり、やみ なほ、ほたる おほ と 飛びちがひたる。また、ただ一つ二つ など、ほかにうち 光 て行くもをかし。雨など降るもをかし。

あき 秋は夕暮れ。夕日の差し 山 の端いと ちか 近うなりたるに、からす ねどころ 烏 の寝所へ行くとして、みつ よ 三つ四つ、ふた み 二つ三つなど 飛び急ぐさへあはれなり。まいて 雁 などの連ねたるが、いと ちひ 小 かく見ゆるは、いとをかし。日入り果てて、風 の音、虫 の音など、はた言ふべきにあらず。

ふゆ 冬はつとめて。雪の降りたるは言ふべきにもあらず、しも のいと しろ 白きも、またさらでもいと 寒きに、火 など急ぎおこして、すみ も わた 炭 持て渡るも、いとつきづきし。ひる 昼 になりて、ぬるくゆるびもていけば、火 桶 の火も、白き灰がちになりてわろし。

### げんだいごやく 現代語訳

はる 春は明け方が良い。日が昇るにつれてだんだんと白くなる、その山の辺りの空が少し明るくなって、むらさき 紫 がかっている雲が長くたなびいている様子が良い。

なつ 夏は夜が良い。月が出ている夜はもちろんのこと、（月が出ていない）やみ なほ 闇夜もまた、ほたる おお と か 多く飛び交っている様子も良い。また（たくさんではなくて）、ほたる いっぴき に ひき 一匹や二匹が、かすかに光って飛んでいるのも良い。雨が降るのもおもむきがあって良い。

あき 秋は夕暮れが良い。夕日が差し込んで、山の端がとても近くなっているときに、からす ねどころ 烏 が寝床へ帰ろうとして、さんば よんわ に わ さん ば と いそ 飛び急いでいる様子さえしみじみと感じる。ましてや雁などが隊列を組んで飛んでいるのが、（遠くに）たいへん ちい 小 さい見えるのは、とてもおもむきがあって良い。日が落ちてから聞こえてくる、風 の音や虫 の鳴く音などは、言うまでもなくすばらしい。

ふゆ 冬は早朝が良い。雪が降っている朝は言うまでもなく、しも お 霜 が降りて 辺り 一面が白くなっているときも、またそうでなくてもとても寒いときに、さむ ひ 火などを（台所で）急いでおこして、（部屋の）すみ 炭 びつまで持っていく様子も、たいそう 冬 に ふさわしい。ひる 昼 になって 暖 かくなると、火 桶 に入った炭火が白く灰っぽくなっているのはよくない。

Word List (古文→現代文)

- ・あけぼの あ がた 明け方
- ・やうやう だんだんと
- ・さらなり 言うまでもない
- ・をかし おもむきぶか 趣 深い
- ・あはれなり おもむきぶか 趣 深い
- ・雁 かり カモ
- ・つとめて そうちょう 早朝
- ・炭持て渡る すみ も わた すみ も ろう か ある ようす 炭を持って廊下を歩く様子
- ・つきづきし に 似つかわしい
- ・わろし この よくない、好ましくない

Word List (現代文→English)

- ・明け方 あ がた dawn
- ・昇る のぼ (sun) rise
- ・辺り あた surroundings
- ・紫 むらさき がかかる (to) become purplish
- ・たなびいている cloud is trailing
- ・もちろん of course
- ・闇夜 やみよ really dark night
- ・蛍 ほたる firefly
- ・飛び交う と か fly around
- ・かすかに faintly
- ・おもむき elegance / grace
- ・夕暮れ ゆうぐ dusk
- ・差し込む さ こ (sun light is) lightning like a string
- ・山の端 やま はし edge of the mountain
- ・寝床 ねどこ place to sleep
- ・飛び急ぐ と いそ rapidly fly
- ・しみじみ heartily
- ・ましてや much less
- ・隊列 たいれつ rank
- ・風の音や虫の鳴く音 かぜ おと むし な おと sound of wind and sound of bug whispers
- ・霜 しも frost
- ・炭びつ すみ hearth
- ・火桶 ひおけ wooden brazier